

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島 和弘	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	森林林業体験活動推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進する	
事業概要	県民が森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進するため、ふるさとの森（ふるさと森林公園・県民の森）において森林とふれあう場を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	ふるさとの森利用者数	目標値	12,100.0	12,500.0	12,900.0	13,300.0	人
		取組目標値						
	式・定義	ふるさと森林公園(学習展示館)利用者数の過去5年間平均値	実績値	11,786.0	12,113.0			
		達成率	-	100.2	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	43,272	42,702
うち一般財源 (千円)	36,992	38,841

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

ふるさと森林公園：開園から22年が経過し、施設の老朽化に伴う修繕が増加している。松江市と共用する給排水設備については、平成26年4月1日に管理・修繕費の費用案分協定を結び、松江市に修繕負担金の支払いを求めている。公園の有効活用を推進する観点から、NPO法人もりふれ倶楽部に公園の管理運営を委託している。平成28年度のふるさと森林公園の利用者数は12,113人であった。

県民の森：H22年度に、もりのすとキャンプ場周辺を飯南町に譲渡し、譲渡施設周辺の維持管理業務は、飯南町の指定管理者へ委託している。キャンプ場周辺の遊歩道は、森林セラピーに利用されており、平成28年度は264名の利用者があった。県主催のふれあいイベントは、平成28年度は計14回の森とのふれあいイベントを開催し、257名の参加者があった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 平成26年度以降、ふるさと森林公園の給排水設備の維持管理については松江市との協定に基づく費用按分による費用負担の分担が行われており、設備投資が抑えられている。
- ふるさと森林公園、県民の森とも多くの利用者が訪れている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 安全・快適に公園が利用されるよう設置施設等の適切な維持管理や計画的な更新等が必要だが、年度途中における突発的な修繕等の対応が増大している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 園内各施設の老朽化に対応するため計画的に修繕等を行っているが、20年以上経過しているため突発的に不具合等が発生する。また、遊歩道や広場付近に松くい虫やナラ枯れの枯損木が発生し落枝や倒伏が懸念され、安全確保のため伐倒処理等が必要だが、公園内樹木が大径化しており直営対応が難しくなっている。
- ③原因を解消するための「課題」
- 計画的な修繕・更新の的確な実施。
 - 来園者の安全確保に必要な緊急性のある修繕・維持管理への迅速な対応。(経費確保を含む)
 - 来園者の安全確保のため、巡視の徹底。危険箇所における一時的な遊歩道等の進入禁止措置。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 既存施設は適切に維持し長寿命化を図ることで更新コストの抑制を図りつつ、新たな施設の導入を適宜見込むことにより、安全に利用できる魅力ある公園づくりを行う。
- 来園者の安全確保を最優先とし、緊急性のある修繕・維持管理への迅速な対応と危険察知の体制確保。
- 森のイベントを企画する団体等との連携・協力体制を強化し、新たなイベント等企画を促進する。